

対象校No. 962
注4

学校コード F128310108954
注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 学部の学科の設置
注1

届出

注2
関西国際大学 国際コミュニケーション学部 観光学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人濱名山手学院
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	学長室
職名・氏名	カチョウ イシカワロアキ 課長・石川裕章
電話番号	0794-84-3500
(夜間)	0794-84-3500
e-mail	pres-sec@kuins.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

国際コミュニケーション学部

＜観光学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	21
4. 既設大学等の状況	22
5. 教員組織の状況	23
6. 附帯事項等に対する履行状況等	39
7. その他全般的事項	41

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人濱名山手学院

(2) 大 学 名

関西国際大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒650-0006

兵庫県神戸市中央区諏訪山3番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ハマ アツシ) 濱名 篤 (平成18年6月)		
学 長	(ハマ アツシ) 濱名 篤 (平成17年4月)		
学 部 長	(ワタベ ヨリスミ) 渡邊 頼純 (平成30年4月)	(ムネタ ヨシフミ) 宗田 好史 (令和5年4月)	退職による (R5)
学科長等	(ヨシタ マコト) 吉田 誠 (令和3年4月)	(イ ヨシノブ) 李 容淑 (令和4年4月)	契約変更による (R4)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和6年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5)－① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称（学位）	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停 止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
国際コミュニケーション学部 観光学科 学士（社会学）	社会学・社会 福祉学関係	4 年	80 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	320 人	—	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。）

(5)－② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 80 (—) [—]	人 80 (—) [—]	人 80 (—) [—]	人 80 (—) [—]	人 80 (—) [—]	人 80 (—) [—]	人 80 (—) [—]	人 80 (—) [—]	—	0.58 倍	倍	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	281 (—) [30]	— (—) [—]	157 (—) [8]	— (—) [—]	231 (7) [41]	— (3) [3]	154 (4) [34]	— () [—]				
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	259 (—) [30]	— (—) [—]	131 (—) [7]	— (—) [—]	187 (7) [35]	— (3) [3]	143 (2) [32]	— () [—]				
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	206 (—) [27]	— (—) [—]	121 (—) [5]	— (—) [—]	157 (7) [28]	— (3) [3]	124 (2) [32]	— () [—]				
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	56 (—) [19]	— (—) [—]	28 (—) [4]	— (—) [—]	38 (6) [15]	— (3) [3]	67 (2) [30]	— () [—]				
入学定員超過率 B／A	—		—		0.7		0.35		0.47		0.84					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
- ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」及び「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
- （春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択）
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- ・ なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
- ・ 「(5)－② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	56 [19] (－)	－ [ー] (ー)	28 [4] (－)	0 [ー] (－)	38 [15] (ー)	0 [0] (ー)	67 [31] (ー)	0 [0] (ー)	
2 年次			－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)			52 [18] (－)	0 [ー] (－)	24 [4] (ー)	0 [0] (ー)	37 [15] (ー)	0 [0] (ー)	
3 年次									56 [23] (ー)	3 [3] (ー)	25 [5] (ー)	0 [0] (ー)	
4 年次							－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	54 [22] (ー)	3 [3] (ー)	
計			－ [ー] (ー)				－ [ー] (ー)		56 [19] (ー)		80 [22] (ー)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	56 人	5 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	5 人	0 人	修学意欲の低下(1名)、身体疾患(1名)、除籍(1名)、その他(2名)
令和4年度	80 人	6 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	2 人	1 人	除籍(1名)、進路変更(他教育機関)(1名)
			令和4年度	4 人	0 人	除籍(2名)、進路変更(就職)(1名)、病気・療養(1名)
令和5年度	121 人	4 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	2 人	1 人	除籍(1名)、経済的困窮(1名)
			令和4年度	1 人	0 人	進路変更(就職)(1名)
			令和5年度	1 人	0 人	教育福祉学科への転学科(1名)
令和6年度	186 人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
合 計		15 人		15 人	2 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例) ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{56} = \boxed{8.92} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{80} = \boxed{7.5} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{121} = \boxed{3.3} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{186} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜国際コミュニケーション学部 観光学科＞

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 教育 科目	観光学概論	1春	2				1				
	観光産業概論	1秋	2			1					
	経営学概論	1春	2			1					
	経済学概論	2秋		2							兼1
	英語基礎1	1春		2					1		兼2
	リーディング1	1春		2					1		兼2
	ライティング1	1春		2					1		兼2
	オールラウンド・コミュニケーション1	1春		2					1		兼2
	英語基礎2	1秋		2					1		兼2
	リーディング2	1秋		2					1		兼2
	ライティング2	1秋		2					1		兼2
	オールラウンド・コミュニケーション2	1秋		2					1		兼2
	英語総合1	1・2春	2			1			1		兼1
	リーディング総合1	1・2春		2		1			1		兼1
	ライティング総合1	1・2春		2		1			1		兼1
	アドバンスド・コミュニケーション1	1・2春	2			1			1		兼1
	英語総合2	1秋・3春	2			1			1		兼1
	リーディング総合2	1秋・3春		2		1			1		兼1
	ライティング総合2	1秋・3春		2		1			1		兼1
	アドバンスド・コミュニケーション2	1秋・3春	2			1			1		兼1
	総合英語Ⅰ	2春		2		1			1		兼1
	総合英語Ⅱ	2秋		2		1			1		兼1
	インテンシブイングリッシュⅠ	1夏		1					1		
	インテンシブイングリッシュⅡ	1冬		1					1		
	インテンシブイングリッシュⅢ	1夏		1					1		
	マーケティング論	1秋	2			1					
	マーケットリサーチ	2春	2								兼1
	異文化理解	1秋	2			1					
	日本の文化	2春	2			1					
	ファイナンス	3春		2							兼1
	統計学	3春		2							兼1
	セイフティマネジメント	3春	2								兼1
	ホスピタリティマネジメント	1秋	2								兼1
	ビジネスモデル・アセスメント	2春		2		1					
	ビジネスモデル・デザイン	2春		2		1					
	イノベーション論	2秋・3春		2		1					

【令和6年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 教育 科目	観光学概論	1春	2				1				
	観光産業概論	1春	2				1				兼1
	経営学概論	1春	2								
	経済学概論	2秋		2							兼2
	英語基礎1	1春	2				1				
	科目統合										
	リーディング・ライティング1	1夏	1								兼1
	オールラウンド・コミュニケーション1	1春	2						2		
	英語基礎2	1春	2				1				兼1
	科目統合										
	リーディング・ライティング2	1冬	1								兼1
	オールラウンド・コミュニケーション2	1秋	2						2		
	英語総合1	2春	2				1				兼1
	科目統合										
	リーディング・ライティング3	2夏	1								兼1
	アドバンスド・コミュニケーション1	2春	2						2		
	英語総合2	2秋		2			1				
	科目統合										
	リーディング・ライティング4	2冬		1							兼1
	アドバンスド・コミュニケーション2	2秋		2					1		
	総合英語Ⅰ	2春		2			1				
	総合英語Ⅱ	2秋		2			1				
	インテンシブイングリッシュⅠ	1夏		1					2		
	インテンシブイングリッシュⅡ	1冬		1					2		
	インテンシブイングリッシュⅢ	2夏		1					2		
	リーディング・ライティング総合1	3春		1							兼1
	リーディング・ライティング総合2	3秋		1							兼1
	リーディング・ライティング総合3	4春		1							兼1
	リーディング・ライティング総合4	4秋		1							兼1
	ホテル実務英語Ⅰ	3春		1							兼1
	ホテル実務英語Ⅱ	3秋		1							兼1
	エアライン実務英語Ⅰ	3春		1					1		
	エアライン実務英語Ⅱ	3秋		1					1		
	旅行業実務英語Ⅰ	3春		1			1				
	旅行業実務英語Ⅱ	3秋		1			1				
	観光ビジネス英語Ⅰ	3春		1							兼1
	観光ビジネス英語Ⅱ	3秋		1							兼1
	マーケティング論	1秋	2				1				
	マーケットリサーチ	2春	2				1				
	異文化理解	1秋	2				1				
	日本の文化	1春	2				1				
	ファイナンス	3春		2							兼1
	統計学	1春	2								兼1
	セイフティマネジメント	3春	2				1				
	ビジネス統計学	2春									兼1
	ホスピタリティマネジメント	1秋	2				1				
	ビジネスモデル・アセスメント	3秋		2			1				
	ビジネスモデル・デザイン	2春		2			1				
	イノベーション論	2秋		2			1				

	人間学Ⅱ	1春	2							兼3
	倫理と社会生活(倫理学)	1秋		2						兼1
	人権と法(法学)	1春		2						兼1
	比較宗教論(宗教学)	1春		2						兼1
	近現代の歴史(歴史学)	1春		2						兼1
	日本国憲法(法学)	1秋		2						兼1
	国際社会と政治(政治学)	1春		2						兼1
	社会階層と文化(社会学)	1秋		2						兼1
	データサイエンス	1春		2						兼1
	環境と生活(環境学)	1秋		2						兼1
	生命と倫理(倫理学)	1春		2						兼1
	情報と社会(情報学)	1秋		2						兼1
	グローバルスタディⅠ	2夏		1			1			
	グローバルスタディⅡ	2夏		2		1				
	グローバルスタディⅢ	2夏		3		1				
	地域研究(北米圏)	1秋		2						兼1
	地域研究(アジア圏)	1秋		2						兼1
	サービスマーケティングⅠ	2夏		2						
	サービスマーケティングⅡ	3夏		2						
	地域防災減災論(危機管理)	3春		2						兼1
	ボランティア論(地域社会)	1冬		2						兼1
	災害と安全(危機管理)	1冬		2						兼1
	特別研究Ⅰ	－		1						
	特別研究Ⅱ	－		2						
	特別研究Ⅲ	－		3						
	特別研究Ⅳ	－		4						
	小計(60科目)	－	14	93	0	7	3	1	2	
	合計(166科目)	－	64	268	0	7	3	1	2	
卒業要件及び履修方法										
専門教育科目のうち、必修科目として基礎科目から6単位、基幹科目から28単位、展開科目から4単位、総合演習から12単位、選択必修として基幹科目から6単位以上を修得。 基盤教育科目のうち、必修科目として「KUISベーシックス」から8単位、コモンベーシックス「情報」から2単位、リベラルアーツから4単位、選択必修としてリベラルアーツ「人間の理解」「社会と生活」「科学と生活」のそれぞれから2単位以上、グローバルスタディのうち「グローバルスタディⅠ・Ⅱ・Ⅲ」もしくは、コミュニティスタディのうち「サービスマーケティングⅠ」「サービスマーケティングⅡ」のいずれか2単位以上、または「グローバルリサーチ」を修得した上で、卒業要件単位である126単位を満たすこと。										

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	観光学概論	1春	2				1				
	観光産業概論	1春	2				1				
	経営学概論	1春	2								兼1
	経済学概論	2秋		2							兼1
	英語基礎1	1春	2				1				兼2
	科目統合										
	リーディング・ライティング1	1夏	1								兼1
	オーラル・コミュニケーション1	1春	2						2		
	英語基礎2	1春	2				1				兼1
	科目統合										
	リーディング・ライティング2	1冬	1								兼1
	オーラル・コミュニケーション2	1秋	2						2		
	英語総合1	2春	2				1				兼1
	科目統合										
	リーディング・ライティング3	2夏	1								兼1
	アドバンスト・コミュニケーション1	2春	2						2		
	英語総合2	2秋		2			1				
	科目統合										
	リーディング・ライティング4	2冬		1							兼1
	アドバンスト・コミュニケーション2	2秋		2					1		
	総合英語Ⅰ	2春		2							兼1
	総合英語Ⅱ	2秋		2							兼1
	インテンシブイングリッシュⅠ	1夏		1					2		
	インテンシブイングリッシュⅡ	1冬		1					2		
	インテンシブイングリッシュⅢ	2夏		1					2		
	リーディング・ライティング総合1	3春		1			1				
	リーディング・ライティング総合2	3秋		1			1				
	リーディング・ライティング総合3	4春		1					2		
	リーディング・ライティング総合4	4秋		1					2		
	ホテル実務英語Ⅰ	3春		1							兼1

	人間学Ⅱ	1春	2			1					兼3
	倫理と社会生活(倫理学)	1秋		2							兼1
	人権と法(法学)	1春		2							兼1
	比較宗教論(宗教学)	1春		2							兼1
	近現代の歴史(歴史学)	1春		2							兼1
	日本国憲法(法学)	1秋		2							兼1
	国際社会と政治(政治学)	1春		2							兼1
	社会階層と文化(社会学)	1秋		2							兼1
	データサイエンス	1春		2							兼1
	環境と生活(環境学)	1秋		2							兼1
	生命と倫理(倫理学)	1春		2							兼1
	情報と社会(情報学)	1秋		2							兼1
	グローバルスタディⅠ	2夏		1			2				
	グローバルスタディⅡ	2夏		2							兼1
	グローバルスタディⅢ	2夏		3							兼1
	地域研究(北米圏)	1秋		2							兼1
	地域研究(アジア圏)	1秋		2							兼1
	サービスマーケティングⅠ	2夏		2							兼1
	サービスマーケティングⅡ	3夏		2					1		
	地域防災減災論(危機管理)	3春		2							兼1
	ボランティア論(地域社会)	1冬		2							兼1
	災害と安全(危機管理)	1冬		2							兼1
	特別研究Ⅰ	1・2・3・4		1							兼2
	特別研究Ⅱ	1・2・3・4		2							兼2
	特別研究Ⅲ	1・2・3・4		3							兼1
	特別研究Ⅳ	1・2・3・4		4							兼1
	小計(61科目)	－	14	93	0						
	合計(197科目)	－									
卒業要件及び履修方法											
専門教育科目のうち、必修科目として基礎科目から6単位、基幹科目から29単位、総合演習から12単位、選択必修として展開科目から32単位以上を修得。 基盤教育科目のうち、必修科目として「KUISベーシックス」から8単位、コモンベーシックス「情報」から2単位、リベラルアーツから4単位、選択必修としてリベラルアーツ「社会と生活」「科学と生活」のそれぞれから2単位以上、グローバルスタディのうち「グローバルスタディⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」、または専門教育科目の展開科目「インターンシップⅠ～Ⅳ」のいずれか2単位以上、もしくは「グローバルリサーチ」を修得した上で、卒業要件単位である126単位を満たすこと。											

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	観光学概論	1春	2				1				
	観光産業概論	1春	2				1				
	経営学概論	1春	2								兼1
	経済学概論	2秋		2							兼1
	英語基礎1	1春	2				1				兼2
	科目統合										
	リーディング・ライティング1	1夏	1								兼1
	オーフル・コミュニケーション1	1春	2						2		兼1
	英語基礎2	1春	2				1				兼2
	科目統合										
	リーディング・ライティング2	1冬	1								兼1
	オーフル・コミュニケーション2	1秋	2						2		兼1
	英語総合1	2春	2						1		兼2
	科目統合										
	リーディング・ライティング3	2夏	1								兼1
	アドバンスト・コミュニケーション1	2春	2						2		兼1
	英語総合2	2秋		2			1		2		
	科目統合										
	リーディング・ライティング4	2冬		1							兼1
	アドバンスト・コミュニケーション2	2秋		2					1		兼1
	総合英語Ⅰ	2春		2			1				
	総合英語Ⅱ	2秋		2			1				
	インテンシブイングリッシュⅠ	1夏		1					2		兼1
	インテンシブイングリッシュⅡ	1冬		1					2		兼1
	インテンシブイングリッシュⅢ	2夏		1					2		
	リーディング・ライティング総合1	3春		1							兼1
	リーディング・ライティング総合2	3秋		1							兼1
	リーディング・ライティング総合3	4春		1							兼1
	リーディング・ライティング総合4	4秋		1							兼1
	ホテル実務英語Ⅰ	3春		1							兼1

	グローバルスタディⅠ	2夏		1		2					
	グローバルスタディⅡ	2夏		2		1				兼1	
	グローバルスタディⅢ	2夏		3						兼1	
	地域研究(北米圏)	1秋		2						兼1	
	地域研究(アジア圏)	1秋		2						兼1	
	サービスマーケティングⅠ	2夏		2						兼1	
	サービスマーケティングⅡ	3夏		2			1				
	地域防災減災論(危機管理)	3春		2						兼1	
	ボランティア論(地域社会)	1冬		2						兼1	
	災害と安全(危機管理)	1冬		2						兼1	
	特別研究Ⅰ	1・2・3・4		1						兼2	
	特別研究Ⅱ	1・2・3・4		2						兼2	
	特別研究Ⅲ	1・2・3・4		3						兼1	
	特別研究Ⅳ	1・2・3・4		4						兼1	
	小計(61科目)	－	14	93	0						
合計(197科目)		－									
卒業要件及び履修方法											
専門教育科目のうち、必修科目として基礎科目から6単位、基幹科目から29単位、総合演習から12単位、選択必修として展開科目から32単位以上を修得。 基盤教育科目のうち、必修科目として「KUISベーシックス」から8単位、コモンベシックス「情報」から2単位、リベラルアーツから4単位、選択必修としてリベラルアーツ「社会と生活」「科学と生活」のそれぞれから2単位以上、グローバルスタディのうち「グローバルスタディⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」、または専門教育科目の展開科目「インターンシップⅠ～Ⅳ」のいずれか2単位以上、もしくは「グローバルリサーチ」を修得した上で、卒業要件単位である126単位を満たすこと。											

	グローバルスタディⅠ	2夏		1				1			兼2
	グローバルスタディⅡ	2夏		2				1			兼2
	グローバルスタディⅢ	2夏		3				1			兼2
	地域研究(欧米圏)	1秋		2							兼1
	地域研究(アジア圏)	1秋		2							兼1
	サービスマーケティングⅠ	2夏		2				1			兼1
	サービスマーケティングⅡ	3夏		2			1				
	地域防災減災論(危機管理)	3春		2							
	ボランティア論(地域社会)	1冬		2							兼1
	災害と安全(危機管理)	1冬		2							兼1
	特別研究Ⅰ	－		1							兼2
	特別研究Ⅱ	－		2							兼2
	特別研究Ⅲ	－		3							兼2
	特別研究Ⅳ	－		4							兼2
	小計(60科目)	－	14	93	0						
合計(195科目)		－									
卒業要件及び履修方法											
専門教育科目のうち、必修科目として基礎科目から6単位、基幹科目から29単位、総合演習から12単位、選択必修として展開科目から32単位以上を修得。 基盤教育科目のうち、必修科目として「KUISベーシックス」から8単位、コモンベシックス「情報」から2単位、リベラルアーツから4単位、選択必修としてリベラルアーツ「社会と生活」「科学と生活」のそれぞれから2単位以上、グローバルスタディのうち「グローバルスタディⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」、または専門教育科目の展開科目「インターンシップⅠ～Ⅳ」のいずれか2単位以上、もしくは「グローバルリサーチ」を修得した上で、卒業要件単位である126単位を満たすこと。											

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	観光学概論	1春	2				1				
	観光産業概論	1春	2			1					
	経営学概論	1春	2								兼1
	経済学概論	2秋		2							兼1
	英語基礎1	1春	2				1		1		兼2
	リーディング・ライティング1 オーバー・コミュニケーション1	1夏 1春	1 2							2	兼1 兼1
	英語基礎2	1春	2				1				兼2
	リーディング・ライティング2 オーバー・コミュニケーション2	1冬 1秋	1 2						2		兼1 兼1
	英語総合1	2春	2						1		
	リーディング・ライティング3 アトハンスト・コミュニケーション1	2夏 2春	1 2							1	兼1
	英語総合2	2秋		2					1		
	リーディング・ライティング4 アトハンスト・コミュニケーション2	2冬 2秋		1 2						1	兼1
	総合英語Ⅰ	2春	2						1		
	総合英語Ⅱ	2秋	2						1		
	インターンシップⅠ	1夏	1						1		兼1
	インターンシップⅡ	1冬	1						1		兼1
	インターンシップⅢ	2夏	1						1		
	リーディング・ライティング総合1	3春	1								兼1
	リーディング・ライティング総合2	3秋	1								兼1
	リーディング・ライティング総合3	4春	1								兼1
	リーディング・ライティング総合4	4秋	1								兼1
	ホテル実務英語Ⅰ	3春	1								兼1
	ホテル実務英語Ⅱ	3秋	1								兼1
	エアライン実務英語Ⅰ	3春	1								兼1
	エアライン実務英語Ⅱ	3秋	1								兼1
	旅行業実務英語Ⅰ	3春	1								兼1
	旅行業実務英語Ⅱ	3秋	1								兼1
	観光ビジネス英語Ⅰ	3春	1								兼1
	観光ビジネス英語Ⅱ	3秋	1								兼1
	マーケティング論	1秋	2					1			
	マーケットリサーチ	2春	2								兼1
	異文化理解	1秋	2			1					
	日本の文化	1春	2			1					
	ファイナンス	3春		2							兼1
	統計学	1春	2								兼1
	セイフティマネジメント	3春	2								兼1
	ホスピタリティマネジメント ビジネスモデル・デザイン	1秋 3秋	2				1				兼1
	イノベーション論	2春		2		1					
	サービス・ブランディング	2秋		2							兼1

	中国語ライティングⅠ	3春		2			1				
	中国語リスニングⅠ	3春		2				1			
	中国語Ａ／＼トハシスト・コミュニケーション	3春		2				1			
	中国語リーディングⅡ	3秋		2				1			
	中国語ライティングⅡ	3秋		2				1			
	中国語リスニングⅡ	3秋		2				1			
	中国語Ａ／＼トハシスト・コミュニケーション	3秋		2				1			
	中国語ライティングⅡ・マインメント演習Ⅰ	2春	2			7	3	1			
	中国語ライティングⅡ・マインメント演習Ⅱ	2秋	2								
	中国語ライティングⅡ・マインメント演習Ⅲ	3春	2								
	中国語ライティングⅡ・マインメント演習Ⅳ	3秋	2								
	卒業研究(課題研究)	4	4								
	小計(135科目)	－	49	212							
基盤教育科目	評価と実践Ⅰ	1～2	1			1	1	1			
	評価と実践Ⅱ	3～4	1								
	リーダーシップ演習	1冬		1							
	仕事とキャリア形成Ⅰ	2春	2								
	仕事とキャリア形成Ⅱ	2秋		2							
	初年次セミナー	1春	1			1	1	1			
	基礎演習	1秋	1			1	1	1			
	学習技術	1春	1			3	1				
	リサーチ入門	1冬	1								兼2
	韓国・朝鮮語Ⅰ	1春秋		2							兼1
	韓国・朝鮮語Ⅱ	1春秋		2							兼1
	ベトナム語	1春秋		2							兼1
	マレー語	1春秋		2							
	インドネシア語	1春秋		2							兼1
	日本語Ⅰ	1春		2							兼1
	日本語Ⅱ	1春		2							兼1
	日本語Ⅲ	1春		2							兼1
	日本語Ⅳ	1秋		2							兼1
	日本語Ⅴ	1秋		2							兼1
	アカデミック日本語Ⅰ	2春		1							
	アカデミック日本語Ⅱ	2秋		1							
	日本語ライティングⅠ	2春		1							
	日本語ライティングⅡ	2秋		1							
	ビジネス日本語Ⅰ	3春		1							
	ビジネス日本語Ⅱ	3春		1							
	専門日本語Ⅰ	3秋		1							
	専門日本語Ⅱ	3秋		1							
	ICTリテラシー	1春	2								兼2
	ICT活用A	1秋		2							兼1
	ICT活用B	2春		2							
	ICT活用C	2秋		2							
	生涯スポーツⅠ	1夏		2							兼1
	生涯スポーツⅡ	1冬		2							兼1
	人間学Ⅰ	1秋	2								兼3
	人間学Ⅱ	1春	2								兼3
	倫理と社会生活(倫理学)	1秋		2							兼2
	人権と法(法学)	1春		2							兼1
	比較宗教論(宗教学)	1春		2							兼1
	近現代の歴史(歴史学)	1春		2							
	日本国憲法(法学)	1秋		2							兼1
	国際社会と政治(政治学)	1春		2							
	社会階層と文化(社会学)	1秋		2							兼1
	データサイエンス	1春		2							兼1
	環境と生活(環境学)	1秋		2							兼1
	生命と倫理(倫理学)	1春		2							兼1
	情報と社会(情報学)	1秋		2							兼1
	グローバルスタディⅠ	2夏		1				1			
	グローバルスタディⅡ	2夏		2			1				
	グローバルスタディⅢ	2夏		3			1				
	地域研究(欧米圏)	1秋		2							兼1
	地域研究(アジア圏)	1秋		2							兼1
	サービスラーニングⅠ	2夏		2							
	サービスラーニングⅡ	3夏		2							
	地域防災減災論(危機管理)	3春		2							
	ボランティア論(地域社会)	1冬		2							兼1
	災害と安全(危機管理)	1冬		2							兼1
	特別研究Ⅰ	－		1							兼2
	特別研究Ⅱ	－		2							兼2
	特別研究Ⅲ	－		3							兼1
	特別研究Ⅳ	－		4							
	小計(60科目)	－	14	93	0						
合計(195科目)		－									
卒業要件及び履修方法											
専門教育科目のうち、必修科目として基礎科目から6単位、基幹科目から29単位、総合演習から12単位、選択必修として展開科目から32単位以上を修得。 基盤教育科目のうち、必修科目として「KUISベーシックス」から8単位、コモンベーシックス「情報」から2単位、リベラルアーツから4単位、選択必修としてリベラルアーツ「社会と生活」「科学と生活」のそれぞれから2単位以上、グローバルスタディのうち「グローバルスタディⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」、または専門教育科目の展開科目「インターンシップⅠ～Ⅳ」のいずれか2単位以上、もしくは「グローバルリサーチ」を修得した上で、卒業要件単位である126単位を満たすこと。											

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・教育課程の一部見直しにより、経営学概論の担当教員を教授1から兼任教授1に変更
- ・英語科目における教育課程の見直しにより、英語基礎1を必修科目に変更し、担当教員を助教1、兼任1から准教授1、助教1、兼任2に変更
- ・英語科目における教育課程の見直しにより、オラル・コミュニケーション1を必修科目に変更し、担当教員を助教1、兼任1から助教2、兼任1に変更
- ・英語科目における教育課程の見直しにより、英語基礎2を必修科目に変更し、担当教員を助教1、兼任1から准教授1、兼任1に変更
- ・英語科目における教育課程の見直しにより、オラル・コミュニケーション2を必修科目に変更し、担当教員を助教1、兼任2から、助教2、兼任1に変更
- ・教育課程の一部見直しにより、日本の文化の配当学期を2春から1春に変更
- ・教育課程の一部見直しにより、統計学を必修とし、配当学期を3春から1春に変更
- ・教育課程の一部見直しにより、ビジネスモデル・アセスメントの配当学期を2春から3秋に変更
- ・教育課程の一部見直しにより、サービスデザイン^①の配当学期を3春から2秋に変更
- ・教育課程の一部見直しにより、ベンチャービジネス論の配当学期を2秋から3秋に変更
- ・教育課程の一部見直しにより、ビジネスプレゼンテーション1の配当学期を3夏から2冬に変更
- ・教育課程の一部見直しにより、ビジネスプレゼンテーション2の配当学期を3冬から3夏に変更
- ・教育課程の一部見直しにより、コミュニティビジネスの配当学期を2秋から3秋に変更
- ・教育課程の一部見直しにより、インバウンドツーリズム産業論の配当学期を3春から2秋に変更
- ・専任教員増により、航空産業論、航空実務、空港業務、エアライン特別演習Ⅰ、エアライン特別演習Ⅱ、エアライン特別演習Ⅲ、エアライン特別演習Ⅳ、エアライン特別実習Ⅰ、エアライン特別実習Ⅱ、ビジネスマナーの担当者を各科目兼任教員1名から、教授1名に変更
- ・教育課程の一部見直しにより、ツーリズムモデルをツーリズムモデル1、ツーリズムモデル2に分離
- ・教育課程の一部見直しにより、国際関係を国際地政学に名称変更

【令和4年度】

- ・科目担当の一部見直しにより、観光産業概論の担当教員を教授1から准教授1に変更
- ・科目担当の一部見直しにより、マーケティング論の担当教員を教授1から講師1に変更
- ・科目担当の一部見直しにより、ビジネス^②の担当教員を教授1から兼任1に変更
- ・科目担当の一部見直しにより、観光イベント論の担当教員を兼任1から講師1に変更
- ・科目担当の一部見直しにより、観光交通システム論の担当教員を教授1から講師1に変更
- ・科目担当の一部見直しにより、旅行産業論の担当教員を教授1から講師1に変更
- ・科目担当の一部見直しにより、旅行業演習Ⅰの担当教員を講師1から兼任1に変更
- ・科目担当の一部見直しにより、旅行業演習Ⅱの担当教員を講師1から兼任1に変更
- ・科目担当の一部見直しにより、旅行業法・旅行業約款特別演習の担当教員を兼任1に変更
- ・科目担当の一部見直しにより、日本のポップカルチャー^③の担当教員を兼任1に変更
- ・科目担当の一部見直しにより、インターシップⅡの担当教員を教授2から教授3に変更
- ・科目担当の一部見直しにより、グローバルサチ^④の担当教員を教授1から講師1に変更
- ・科目担当の一部見直しにより、上級日本語Ⅰ及びⅡ、資格日本語Ⅰ及びⅡを兼任1に変更
- ・担当教員の配置換えにより、中国語基礎Ⅰ及びⅡ、中国語コミュニケーションⅠ及びⅡ、中国語リーディングⅠ、中国語ライティングⅠの担当教員を変更
- ・教員の採用により、プロジェクトマネジメント演習ⅠからⅣ、卒業研究の担当者を変更
- ・科目担当の一部見直しにより、評価と実践Ⅰの担当教員を教授1から教授2に変更
- ・科目担当の一部見直しにより、サチ入門^⑤の担当教員を教授Ⅰから兼任1に変更
- ・科目担当の一部見直しにより、グローバルスタンディⅡ、Ⅲの担当教員を変更

【令和5年度】

- ・教員担当者の見直しにより、経営学概論の担当教員を教授1から准教授1に変更
- ・科目担当者の見直しにより、英語総合Ⅰを教授1、兼任1に変更
- ・科目担当者の見直しにより、英語総合Ⅱを教授1に変更
- ・科目担当者の見直しにより、総合英語Ⅰ・Ⅱを兼任1に変更
- ・科目担当者の見直しにより、リーディング^⑥・ライティング^⑦総合Ⅰ・Ⅱを准教授1に変更
- ・科目担当者の見直しにより、リーディング^⑧・ライティング^⑨総合Ⅲ・Ⅳを儒教2に変更
- ・科目担当者の見直しにより、エライ^⑩実践英語Ⅰ・Ⅱを助教1に変更
- ・科目担当者の見直しにより、マーケティング論を教授1に変更
- ・科目担当者の見直しにより、セティマシ^⑪メントを教授1に変更
- ・科目担当者の見直しにより、ホビ^⑫リティマシ^⑬メントを教授1に変更
- ・科目担当者の見直しにより、サービス・デザイン^⑭を教授1に変更
- ・科目担当者の見直しにより、思考法を兼任1に変更
- ・科目担当者の見直しにより、エライ特別演習Ⅰ・Ⅱを兼任1に変更
- ・科目担当者の見直しにより、ビジネス^⑮を兼任1に変更
- ・科目担当者の見直しにより、観光イベント論を教授1に変更
- ・科目担当者の見直しにより、アップラング^⑯を教授1に変更
- ・科目担当者の見直しにより、ホル産業論を教授1に変更
- ・科目担当者の見直しにより、アミューズメントパーク論を教授1に変更
- ・科目担当者の見直しにより、MICE・IR概論を教授1に変更
- ・科目担当者の見直しにより、流通産業論を教授2に変更
- ・科目担当者の見直しにより、観光交通システム論を教授1に変更
- ・科目担当者の見直しにより、旅行産業論を教授1に変更
- ・科目担当者の見直しにより、トラベルエージェン^⑰トを教授1に変更
- ・科目担当者の見直しにより、国際地政学を教授1に変更
- ・科目担当者の見直しにより、ツーリズム^⑱Ⅰを教授1に変更
- ・科目担当者の見直しにより、ツーリズム^⑲Ⅱを兼任1に変更
- ・科目担当者の見直しにより、日本のポップカルチャー^⑳を准教授1に変更
- ・科目担当者の見直しにより、日本の食文化を教授2に変更
- ・科目担当者の見直しにより、フードビジネス^㉑論を教授1に変更
- ・科目担当者の見直しにより、ツーリズム^㉒Ⅰを教授1に変更
- ・科目担当者の見直しにより、中国語コミュニケーション1、2を講師1に変更
- ・科目担当者の見直しにより、中国語リスニング^㉓1、中国語リーディング^㉔Ⅱ、中国語ライティング^㉕Ⅱを兼任1に変更
- ・科目担当者の見直しにより、評価と実践Ⅰ・Ⅱの担当教員数を変更
- ・科目担当者の見直しにより、仕事とキャリア形成Ⅰを講師1に変更
- ・科目担当者の見直しにより、仕事とキャリア形成Ⅰを教授1に変更
- ・科目担当者の見直しにより、グローバルスタディⅠを教授2に変更
- ・科目担当者の見直しにより、グローバルスタディⅡを教授1に変更

【令和6年度】

教育内容の充実を図るため、英語基礎1の科目担当者を追加
教員の辞任により、観光まちづくり論の科目担当者を変更
担当科目調整により、発想法の科目担当者を変更
担当科目調整により、プロジェクトマネジメント演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの職位別担当教員数を変更
担当科目調整により、評価と実践Ⅰ・Ⅱの職位別担当教員数を変更
担当科目調整により、仕事とキャリア形成Ⅰ・Ⅱの職位別担当教員配置数を変更
教育内容の充実を図るため、リサーチ入門の科目担当者を専任教員に変更
教育内容の充実を図るため、人間学Ⅱの科目担当者を専任教員に変更
担当科目調整により、グローバルスタディⅠの担当者を変更
特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの開講時期を記載

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
34 科目	132 科目	0 科目	166 科目	35 科目 [1]	162 科目 [30]	0 科目 [0]	197 科目 [31]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
						該当なし

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	リーディング 1	2	1春	専門	選択	リーディング・ライティング1、リーディング・ライティング総合1に統合
2	ライティング 1	2	1春	専門	選択	リーディング・ライティング1、リーディング・ライティング総合1に統合
3	リーディング 2	2	1秋	専門	選択	リーディング・ライティング2、リーディング・ライティング総合2に統合
4	ライティング 2	2	1秋	専門	選択	リーディング・ライティング2、リーディング・ライティング総合2に統合
5	リーディング 総合1	2	1・2春	専門	必修	リーディング・ライティング3、リーディング・ライティング総合3に統合
6	ライティング 総合1	2	1・2春	専門	必修	リーディング・ライティング3、リーディング・ライティング総合3に統合
7	リーディング 総合2	2	1秋・3春	専門	必修	リーディング・ライティング4、リーディング・ライティング総合4に統合
8	ライティング 総合2	2	1秋・3春	専門	必修	リーディング・ライティング4、リーディング・ライティング総合4に統合
9	ディステーション・マネジメント特別演習	2	3冬	専門	選択	代替として、実践的なプログラムとして、ツーリズムモデル・プロデューサー特別演習を科目追加

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止科目については、その多くが、開設時に観光に適した英語教育を実施するため教育内容の見直しを行い、科目を統合したことによるものである。また、未開講科目については、担当していた教員の辞任等によるものであり、担当者が確保でき次第開講する予定としている。学生への周知については、フレッシュマンウィークやリフレクションデイにおいて、履修に関するガイダンスを行い周知を図っている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{9}{166} = \boxed{5.42} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	尼崎運動場売却による (R3)			
	校 舎 敷 地	34,542 m ²	- m ²	- m ²	34,542 m ²				
	運動場用地	37,019 m ² 38,913	33,820 m ²	- m ²	70,839 m ² 72,733				
	小 計	71,561 m ² 73,455	33,820 m ²	- m ²	105,381 m ² 105,275				
	そ の 他	23,769 m ²	- m ²	- m ²	23,769 m ²				
	合 計	95,330 m ² 97,224	33,820 m ²	- m ²	129,150 m ² 131,044				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
	56,099 m ² (56,099 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	56,099 m ² (56,099 m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	語学学習施設は情報処理学習施設と併用			
	87 室	71 室	15 室	6 室 (補助職員 8 人)	0 室 (補助職員 0 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数		専任教員退職及び移動による減 (令4)				
	国際コミュニケーション学部観光学科		13 室 15 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体
		大学全体	343,000 (28,050)	3,350[404]					
	計	343,000 (28,050)	3,350[404]	2,300[600]	8,250	6,520 (5,734)	51 (51)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体の数		
	3,547 m ²		486席		344,833冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	3115 m ²		テニスコート5面		フットサルコート1面				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	200千円	200千円	図書購入費	21,970千円	21,970千円	21,970千円	
		共同研究費等	6,000千円	6,000千円	設備購入費	16,666千円	16,666千円	16,666千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,459千円	1,159千円	1,159千円	1,159千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、法人内資産移動などを運営費に充当する。						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	関西国際大学									収容定員充足率0.7倍以下の学科数	3	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考		
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度				
保健医療学部													
看護学科	4	100	-	400	学士(看護学)	0.93	-		平成25	兵庫県三木市志染町青山1-18			
経営学部													
経営学科	4	175	3年次20	740	学士(経営学)	0.98	-	令和3	平成31	兵庫県三木市志染町青山1-18 兵庫県尼崎市潮江1丁目3番23号			
教育学部													
教育福祉学科	4	150	-	600	学士(教育福祉学)	0.61	-		平成19	兵庫県尼崎市潮江1丁目3番23号			
心理学部													
心理学科	4	125	-	500	学士(行動科学)	1.00	-		平成19	兵庫県神戸市中央区諏訪山町3番1号			
国際コミュニケーション学部						0.63	-						
グローバルコミュニケーション学科	4	75	-	300	学士(文学)	0.70	-	令和3	令和3	兵庫県神戸市中央区諏訪山町3番1号			
観光学科	4	80	-	320	学士(社会学)	0.58	-			兵庫県神戸市中央区諏訪山町3番1号			
社会学部													
社会学科	4	100	-	400	学士(学術)	0.56	-	令和3	令和3	兵庫県神戸市中央区諏訪山町3番1号			
現代社会学部													
総合社会学科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
観光学科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
大学全体	4	805	3年次20	3,260									

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年度)	なし	【認可】 遵守事項	履行中
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること	【A C】 指摘事項 (改善)	令和4年度の入学状況を受けて、学長を筆頭とした学生確保のプロジェクトを開催し、入学者選抜方法、学生募集の方法などについての方法等について見直しを行った。結果として令和5年度においては、若干の志願者増が見られたが十分な結果とはなっていない。引き続き、学生募集のあり方を見直し、入学定員未充足の改善に努めていく。
設置計画履行状況調査報告 (令和5年)	収容定員充足率が0.49倍と著しく低いことから、提示された学生確保に向けた取組等を確実に実施するとともに、学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析した上で、より効果的な改善策を新たに講じる等、収容定員の更なる充足に努めること。また、当該分析を踏まえ、必要に応じ、入学定員の見直しや教学組織に係る将来構想を検討すること。(国際コミュニケーション学部観光学科)	【A C】 指摘事項 (是正)	入学者確保の状況は、昨年度よりも改善しており、引き続き学生確保に向けては、入試、オープンキャンパス、高校訪問、WEBといった個別項目について戦略を実行し、改善を図っていく(6)。
設置計画履行状況調査報告 (令和5年)	事務組織内の連携不足により、届出設置時の専任教員就任手続きに不備があったことから、事務の遂行にあたって正確性を期すため、大学内の組織間の有機的な連携を図り、適切な体制を整えるなど改善に努めること。(国際コミュニケーション学部観光学科)	【A C】 指摘事項 (改善)	特に届出設置時に教員の就任手続きに関しては、有機的な連携を図るために、届出申請に係る教員就任状況(契約状況等)について、関連部局において随時確認を行い、連携を図っている(6)。
設置計画履行状況調査報告 (令和5年)	教育内容の充実等を通じ、収容定員未充足の改善に努めること。(社会学部社会学科)	【A C】 指摘事項 (改善)	入学者確保の状況は、昨年度よりも改善しており、引き続き学生確保に向けては、入試、オープンキャンパス、高校訪問、WEBといった個別項目について戦略を実行し、改善を図っていく。
設置計画履行状況調査報告 (令和5年)	教育内容の充実等を通じ、収容定員未充足の改善に努めること。(社会学部社会学科)	【A C】 指摘事項 (改善)	高校生に対する広報活動(募集媒体、リーフレット、HP、高校訪問、オープンキャンパス)等のPR活動の強化を図り、入試方法の見直しを行うことで、入学定員未充足の改善を図っていく(5、6)。

設置計画履行状況調査報告 (令和5年)	関西国際大学の既設学科等（国際コミュニケーション学部グローバルコミュニケーション学科）の収容定員未充足の改善に努めること。	【A C】 指摘事項 (改善)	入学者確保の状況は、昨年度よりも改善しており、引き続き学生確保に向けては、入試、オープンキャンパス、高校訪問、WEBといった個別項目について戦略を実行し、改善を図っていく。	履行済	国際コミュニケーション学部については、令和7年4月にグローバル学部へ改組を行うこととし、令和6年5月末に設置届出書を提出している。また大学全体の収容定員を変更する予定としている(6)。
----------------------------	---	-----------------------	--	-----	--

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5) (6)」と記載してください。
 - 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<国際コミュニケーション学部観光学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
4. 教育課程の編成の考え方 カリキュラムポリシーの変更 5. 教員組織の編成の考え方 8. 入学者選抜の概要 11. 管理運営 12. 自己点検評価	全学で、DX 化が進展する社会で必要となるデータサイエンスに関する知識とスキルを身につけることを明示。 博士学位取得比率（38% → 30%） 年齢構成 60代 6 人、50代 3人、40代 1人、30代 2人 マッチング入試を総合型選抜とし、グループワーク型、活動レポート型、適正検査、面接等の方式としている。 高大連携委員会、教養教育委員会、インクルーシブ支援委員会を加え、社会連携委員会（地域交流委員会名称変更）、ICT教育委員会（メディア教育名称変更） 組織改編により実施主体を「自己評価委員会」から内部質保証委員会に変更

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 高等教育研究開発センターの下に、教育開発部門と初年次教育部門が設置されている。各部門にはそれぞれ委員会が設置されており、そこで協議しつつ、教員の資質の維持向上のために取り組んでいる。また、FD及びSD活動はPDとして、教員の資質向上については教育開発委員会が、職員の資質向上については人財育成課が中心となり進めている。 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 定例委員会を原則として毎月1回開催し、必要に応じて臨時委員会を開催している。 c 委員会の審議事項等 ・ 学位授与の方針及び教育課程編成の方針に基づいた教育の実施に際して必要な教育方法及び評価方法の開発と普及に関する事項 ・ 授業のアンケートに関する事項 ・ シラバスに関する事項 ・ ルーブリックに関する事項 ・ PD（FD及びSD）に関する事項 ・ 卒業研究登録資格認定試験に関する事項
② 実施状況 a 実施内容 学生の多様化の中の教育 ―「学生が学べる」 環境と機会を整える (1) 学生指導・支援における「多様な場面」への対応、学生個々が学べる学習環境の提供 (2) 多様化への対応のための方策を見出す (3) オンデマンド授業への取組・ChatGPT などの生成AI の「業務活用」

b 実施方法 ・PDと称し、教職員ともに教育の質向上を目指し、ワークショップ、内部教員及び外部講師による研修等を行っている c 開催状況（教員の参加状況含む） 2023年度実績 年3回（5日間） 第1回 8月24日・25日 第2回 9月21日 第3回 2月20日・21日 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 オンデマンド教材の作成については、引き続き大学として効果を検証しつつ導入を行っていくが、各教員が今回の研修を踏まえて、オンデマンド教材作成を行っていく予定である。また、同時にアドバイザー機能の見直しも行い、多様な学生の支援の方法について、日常的に改善を図っていく。 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 ・各学期ごとに中間および期末の授業評価を実施している。 b 教員や学生への公開状況、方法等 ・授業評価アンケートは、結果を集計・分析し、教授会での報告と併せて学内ネットワークで教員や学生に公開している。

（３） 教育課程連携協議会に関する事項
※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制 a 委員会の設置状況 （5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。） 該当なし b 委員会の開催状況（回数や開催日など） 該当なし c 委員会の審議事項等 該当なし d その他 該当なし ② 審議状況 a 審議した内容 該当なし b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況 該当なし c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況 該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨に基づき、専門知と経験知の往還により実際の現場で必要となる能力の習得を行うため、教室外学修機会の充実、アクティブラーニングの教育方法を取り入れることを推進している。学生募集及び退学率については、学科設置時より留意し、更なる教育内容の充実や学生募集活動により安定した学科運営を目指していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和6年7月1日 公表

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行
- ・大学ホームページ上に公開予定（令和5年7月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・令和4年度に評価機関（財団法人日本高等教育評価機構）によって認定評価を受けた。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。